

## 1 市の概要

人口 40,051 人  
保護率 1.59 %

三沢市



## 3 実施方法について

実施方法	直営
事業費	6,983千円（困窮：3,996千円、被保護：2,986千円）
理由（委託）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆他部署（生活保護、障害、母子、介護、税務、水道、病院等）や関係機関（社会福祉協議会、社会福祉法人、職安、法テラス）との連携が図りやすい。</li> <li>◆就職の情報収集など、会社への依頼もしやすい。</li> </ul>
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆周知⇒他部署と事業についてミーティングを行う。</li> <li>◆相談員の不足⇒スピーディーな対応をする。仕事の範囲として他課等に依頼できるものは積極的に依頼。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の兼任1名（非常勤職員）、事務補助1名（非常勤職員）</li> <li>◆相談者の悩みを丸ごと受け入れ、ワンストップで対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者の辛い気持ちを理解し、本人のストレングスを見出し意欲喚起をする。</li> </ul> </li> <li>◆多様な機関と円滑な連携を図り、連動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・手続きが苦手な相談者のために、必要な制度、貸付、給付などの申請を同行や代行、事前連絡等をして連携を図る。</li> </ul> </li> <li>◆多様な相談経路で多くの相談が繋がる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協、ハローワーク、地域包括支援センター、税務課、家庭福祉課、不動産会社、病院、知人、家庭から繋がるケースが多い。</li> </ul> </li> <li>◆本人の得意・不得意を見出し、職種等をマッチングをする。</li> <li>◆精神面、経済面を考慮し、スピード感ある支援を実施</li> </ul>
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書添削、面接指導をハローワークに任せず、出来ることは自立相談支援機関で実施。月1回巡回相談あり。</li> </ul>

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件) 一月当たり 13.9  
 プラン作成件数人口10万人当たり(件) 一月当たり 3.5  
 就労支援対象者数人口10万人当たり(件) 一月当たり 1.5  
 就労・増収率(%) 242.9

## 4 事業実績（H30年度）

新規相談受付件数	プラン作成件数	就労支援対象者数	就労者数	増収者数
67人	17件	7人	19人	2人



## 5 事業実施のポイント ～家計の把握と丁寧な就労支援 伴走支援～

### Point

- ・家計や実態把握を行い、相談者との信頼関係を大切にする。
- ・年齢問わず就職支援し、就労定着のため定期的な確認を行う。

- 経済的視点では家計の把握を行い、現在から未来へ相談者がどうなっていけばよいのか、どうなりたいかを相談者とプランをたてる。そして相談者とアセスメントしていく。将来を見通して計画的に生活できるよう促す。
- インテークや就労支援時、キャリアカウンセリングを行い、相談者の環境やストレングスなど考慮しながら、相談者と一緒になってマッチングしていく。ハローワークで紹介状を出してもらってからの不安や疑問のフォローも大事になる。そして、就業決定後は、初日、1週間後、1か月後に相談者へ連絡をし、状態を確認する。そして必ず「もし退職したくなった時、退職後ではなく、退職する前に相談に来てください」と促し、その都度面談や電話にて相談を行っている。

## 6 取り組んで良かったこと

- あらゆる相談者の自立に対してどんな相談も受けることができる。
- 生活困窮者自立支援制度が始まり約5年が経ち、相談ケースにより他機関との連携がしやすくなり、素早い対応ができた。年度を重ねる毎に更に連携が広がっている。